

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	人間発達学部	実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング
科目名称 [英語名称]	考古学 [Archaeology]			科目コード	750011	授業形態	講義
科目コード	750011	単位数	2	担当学年	1-4年次	学位授与の方針 との関連	DP 2(1)、3(4)、3(5)
教員氏名	長津 宗重			実務経験 教員担当	○	学位授与の方針 との関連	DP 2(1)、3(4)、3(5)
授業概要	<p>本授業の目的は、遺跡・遺構・遺物などの考古資料から過去の人間活動とその舞台となった環境に関する情報を抽出・収集することによって歴史を再構築する考古学の研究の方法等を学ぶことです。宮崎県内の最新の発掘調査で確認された考古資料から日本・東アジアの視点で「人間と環境」、「生産と流通」、「集落と祭祀」、「文化と地域性」、「変化と画期」、「交流」などをキーワードとして旧石器・縄文・弥生・古墳時代を中心に古代・中世・近世を含めて日頃の歴史を読み解いていきます。その際には土器・石器などの考古資料を実際に触れながら授業を行います。</p>						
関連する科目	都城の歴史と文化・人間と自然の共生を同時期に受講しておくことが望ましい。						
授業の進め方と方法	毎回の授業においては当日に配布した資料やパワーポイントを利用して授業を展開します。また土器・石器などの考古資料に実際に触れ、その時代や機能について各自で考え討論します。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 考古学とは何か</li> <li>2. 遺物から見る旧石器時代</li> <li>3. 遺構から見る旧石器時代</li> <li>4. 遺物から見る縄文時代</li> <li>5. 遺構から見る縄文時代</li> <li>6. 交流から見る縄文時代</li> <li>7. 遺物から見る弥生時代</li> <li>8. 遺構から見る弥生時代</li> <li>9. 交流から見る弥生時代</li> <li>10. 遺物から見る古墳時代</li> <li>11. 遺構から見る古墳時代</li> <li>12. 交流から見る古墳時代</li> <li>13. 遺構・遺物から見る古代(奈良・平安時代)</li> <li>14. 遺構・遺物から見る中世・近世</li> <li>15. 現代と考古学</li> </ol>						
授業の到達目標	土器・石器などの考古資料を実際に触れることなどを通じて歴史における普遍性や地域性・多様性を知り、理解することにより、歴史への自己認識が深まることを目的とする、						
授業時間外の学修	授業後には配布資料・パンフレットを読んで授業内容を確認してください。次の授業で重要なポイントについて再度確認します。						
課題に対する フィードバック	最終試験は評価後、解説します。			評価方法	以下の項目に基づいて評価します。 1) 最終試験—100点		
テキスト	授業毎に配布した資料及びパンフレット						
参考書	『考古学の基礎知識』(広瀬和雄編著 2007 角川書店) 本体1,700円 『考古学キーワード 改訂版』(安藤政雄編 2002 有斐閣双書) 本体1,900円 『はじめて学ぶ考古学』(佐々木憲一・小杉康・菱田哲郎・朽木量・若狭徹編集 2011 雄山閣アルマ) 本体2,000円 『宮崎県史 通史編 原始・古代1』(宮崎県編集 1997 ぎょうせい) 『宮崎県の歴史』(坂上康俊・福島金治・大賀郁夫・西川誠・長津宗重 1999 山川出版) 本体1,900円						
備考							